



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第14号

2015年1月発行

新年のご挨拶



病院長 今井 康陽

新年あけまして
おめでとうございます。



平成25年4月に病院長に就任し、1年9か月余りが過ぎました。
市立池田病院は創意と思いやりのある医療を実践し、地域住民の方々やかかりつけ医の先生方に信頼される病院として、質が高く、安全な医療を提供することを最も重要な使命と考えております。特に専門性の高い先進的な医療、救急診療を担ってまいります。がん診療においては大腸がん、乳がん、胃がん、肝がん、肺がんの5大がんはもとより、前立腺がん、腎がん、膵臓がん、食道がんなど幅広く高度な医療機器と専門医による診療を行っています。

一方で、日本の医療を取り巻く環境は目まぐるしく変化しつつあります。少子高齢化の急速な進展に伴う人口構成や疾病構造の変化、そして長期にわたる経済の低迷、国の厳しい財政状況などを背景に、自治体病院として健全な経営基盤を保ちつつ、急性期病院としての役割を担うことを求められています。

今後も市立池田病院はかかりつけ医の先生方、さらに地域の薬剤師の方々、訪問看護師、介護に携わるの方々、行政とも連携し、地域の住民の方が安心して暮らせる“メディカル・タウン”構想実現を目指して、職員一丸となって努力してまいります。



副院長・看護部長
大塚 尊子

新春を迎えるにあたり、看護部を代表して皆様にご挨拶申し上げます。
高齢化が加速し、当院においても入院患者さまの高齢化率が71%となる中で、複数の疾患をかかえ生活しておられる方が増えています。看護師の基本的な役割は、療養上のお世話と、診療の介助です。急性期病院では、医療の高度化が進み、診療の介助が注目されがちですが、生活（くらし）の営みを整えるという看護の本質的な役割への挑戦を患者さまと、地域の保健看護福祉職の皆様とつづけております。今年も様々な取り組みを通じて、患者さまやご家族の方々に信頼され、安心していただける医療ができますよう励んで参ります。

患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

呼吸器内科の紹介

呼吸器内科は、スタッフ4名（橋本主任部長、芥川部長、田幡医長、清水専攻医）が肺炎、肺がんをはじめ、びまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、気胸、胸膜炎など急性期呼吸器疾患のプライマリ・ケア全般に対応しています。

疾患特集：COPD(慢性閉塞性肺疾患)

11月26日芥川部長によるCOPDについての市民公開講座が行なわれました。

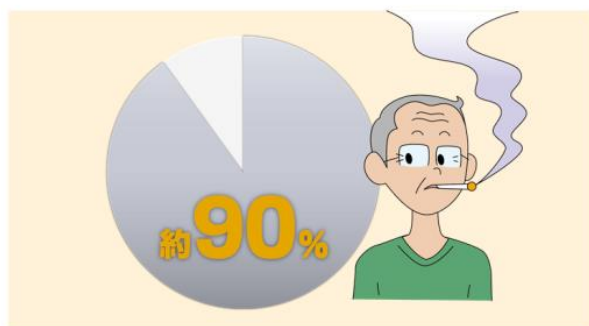


■COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは

- ◆肺胞が破壊されて、通り道である気道が慢性的に狭くなり、息が吐き出しにくくなります。
- ◆重症化すると少し動いただけでも息切れし、日常生活が困難になって社会生活も制限されます。
- ◆進行すると呼吸不全や心不全を起こし、命に関わります。
- ◆肺がんのリスクが高くなります。
- ◆以前は「肺気腫」や「慢性気管支炎」と呼ばれていました。

■COPDの最大の原因はタバコ

- ◆COPD患者さまの約90%は喫煙歴がある



「いまさら禁煙しても・・・」と思っていませんか？

いえいえ、そんなことはありません。
早く禁煙するほど、肺の力は温存されます。

■治療について

まずは、禁煙が最も重要ですが、その他にも吸入療法やリハビリが有効です。進行すると在宅酸素療法が必要になりますので、「もしかしたら」と思われたら早いうちにかかりつけ医に相談しましょう。

■日本のCOPD患者はもっと多い

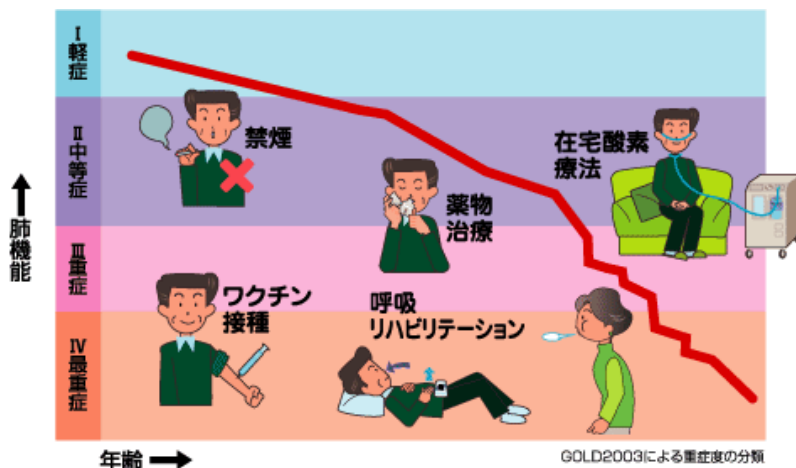
COPD治療者数 22万人^{*3}



*2 Fukuchi Y. et al.: Respirology, 9: 458-465, 2004

*3 厚生労働省: 患者調査, 2011

多くの患者さまは、「息切れ」や「せき」を「年のせい」、「タバコのせい」と思って受診されなかったり、あるいは適切な診断がされていません。



GOLD2003による重症度の分類

呼吸器内科病棟（3東）

3階東病棟は主に呼吸器内科・泌尿器科・耳鼻いんこう科の患者さまが入院される病棟です。今回は呼吸器内科入院、在宅酸素療法についてご紹介いたします。

特集：在宅酸素療法

在宅酸素療法（HOT）は慢性呼吸不全患者の呼吸困難感を軽減し、日常生活の質の向上につながると期待されています。

在宅酸素療法を受けるためには入院して、酸素量の調整や呼吸リハビリテーションなど日常生活に必要な練習を行います。入院期間は病状によって変わりますが1週間程度です。



呼吸器内科病棟（3東病棟）



入院後の経過



入院後は日常生活の動作練習を行います。



呼吸リハビリテーションの様子



臨床工学技士が安全のために酸素機器の点検を行っています。



患者さまに安心して退院後の生活を送れるようさまざまな職種のスタッフが支援します。

入院に関することでわからないことや心配なことがありましたら、受診時看護師にお尋ね下さい。

インフルエンザの予防について

①ワクチン接種

ご家族揃ってワクチン接種することによって家庭内での流行を防ぎ、患者さまを守ることができます。

②帰宅時や食事前の手洗い(手の消毒)

ウイルスが目・口・鼻の粘膜に付着することで感染するので、目や鼻を触らないこともポイントです。

③咳エチケット

周囲にウイルスをまき散らさないように咳・くしゃみがあれば不織布マスクを装着し、唾液・鼻水に触った手はすぐに洗ってください。

イベント紹介

秋の消防訓練

平成26年11月19日（水）池田市消防本部の協力のもと避難訓練、消火器の使い方、放水訓練、排煙窓開閉体験、簡易担架の作り方など消防訓練を行いました。



第7回 日本口腔ケア協会学術大会



平成26年11月23日（日）に大阪御堂会館にて、当院が主催する第7回日本口腔ケア協会学術大会が行なわれました。600名を越える参加者の中「それぞれのステージにおける口腔ケア」をメインテーマに急性期、療養期、エンドオブライフ期の立場から医師、歯科医師、看護師等の先生方にご講演頂きました。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、ご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

12月25日（木）に盛大なクリスマスイベントが院内で開催され、入院患者さまと楽しい一時を過ごしました。



平成26年度 第83回 全国公立病院連盟総会・ 事務長会・看護部長会 合同会議



主催病院代表挨拶

当院が主催病院となり
平成26年11月13日～14日に
全国公立病院63病院、
146名が大阪に
集まり盛大に
行われました。



看護部長会

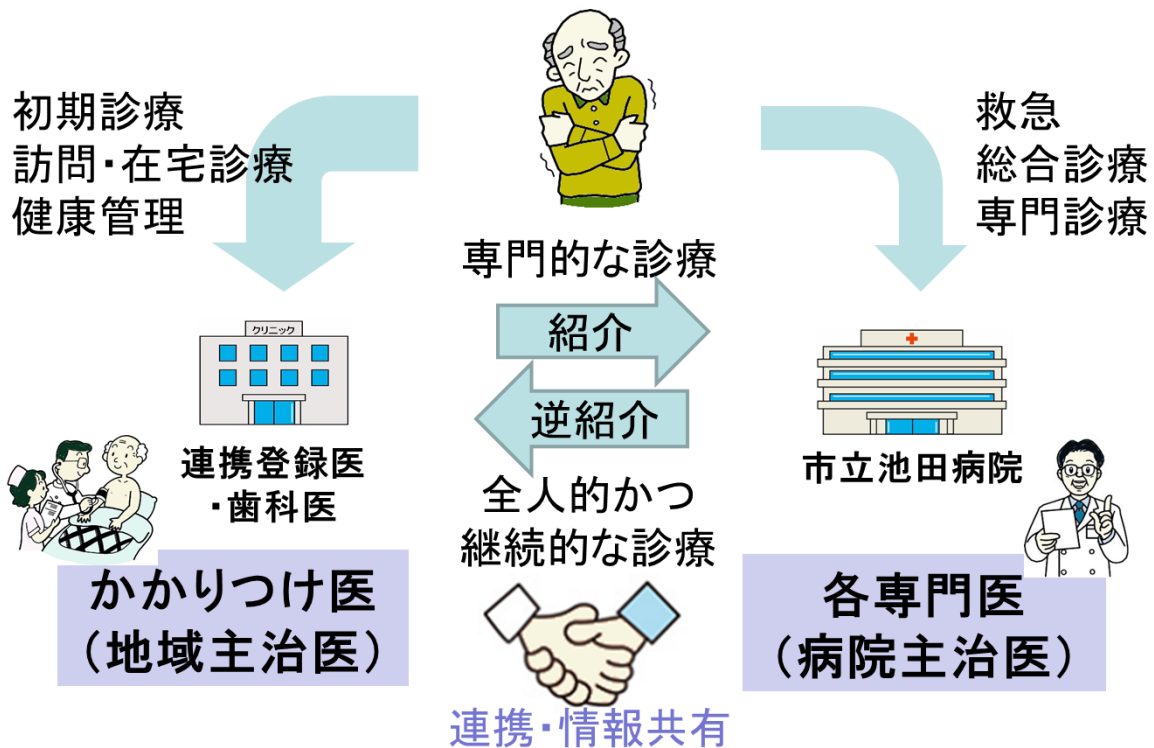


総会

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会

二人主治医制の推進

近年の高齢化の進展に伴い、複数の慢性疾患を有しつつ、入院や手術など病院での専門的な治療も必要とする患者さまが増加しており、かかりつけ医と病院がますます密接に連携することが求められています。市立池田病院では、地域のかかりつけ医（地域主治医）と、病院の各専門医（病院主治医）の、二人の主治医が互いに連携・情報共有しながら継続診療を行う「二人主治医制」を推進しています。病院での専門的な治療により症状が安定すると、かかりつけ医へ逆紹介し、継続的な診療をお願いしています。定期的な検査など必要に応じて病院を受診していただきます。患者さまのご理解とご協力の程よろしく申し上げます。



地域医療ネットワークシステム構築中

(厚生労働省 ICTを活用した地域医療ネットワーク事業)

二人主治医制など連携による医療提供が進む中、ITを活用した情報共有が不可欠になってきました。当院では、厚生労働省の補助事業「地域診療情報連携推進費補助金（ICTを活用した地域医療ネットワーク事業）」として、全国で既に多くの実績がある「地域医療ネットワークシステム」の導入を進めています。

患者さまの同意のもと、当院の検査結果や処方歴などの診療情報を、紹介元の連携機関から参照可能とする仕組みです。さらに、主要な診療情報を遠隔地にあるデータセンターにバックアップしておくことにより、大規模災害や停電、浸水など非常時の診療情報の喪失防止を図ります。

現在テスト稼働中で、順次拡大予定です。さらなる地域医療の質・安全向上にむけて、努めてまいります。

